

横浜市 内水ハザードマップ (鶴見区)

保存版

いざという時に確認できるように他の防災マップと合わせて保管しましょう

●浸水ハザードマップの使い方●

スタート 「1 日頃からの備えと大雨時の注意点」をご覧ください

浸水想定区域以外の方も、日頃から浸水に備えておくことが重要です。
ハザードマップで想定した以上の大雨が降る可能性もあります。

あなたのお住まいや職場で浸水が発生するおそれがありますか？

この裏面の「内水ハザードマップ（下水道や水路からの浸水）」の浸水想定区域を確認しましょう。

「内水ハザードマップ」の浸水想定区域となっている方

「2 内水ハザードマップの活用」をご覧ください。

浸水ハザードマップに関するお問い合わせ先

横浜市 環境創造局 下水道事業調整課
TEL: 045-671-2840

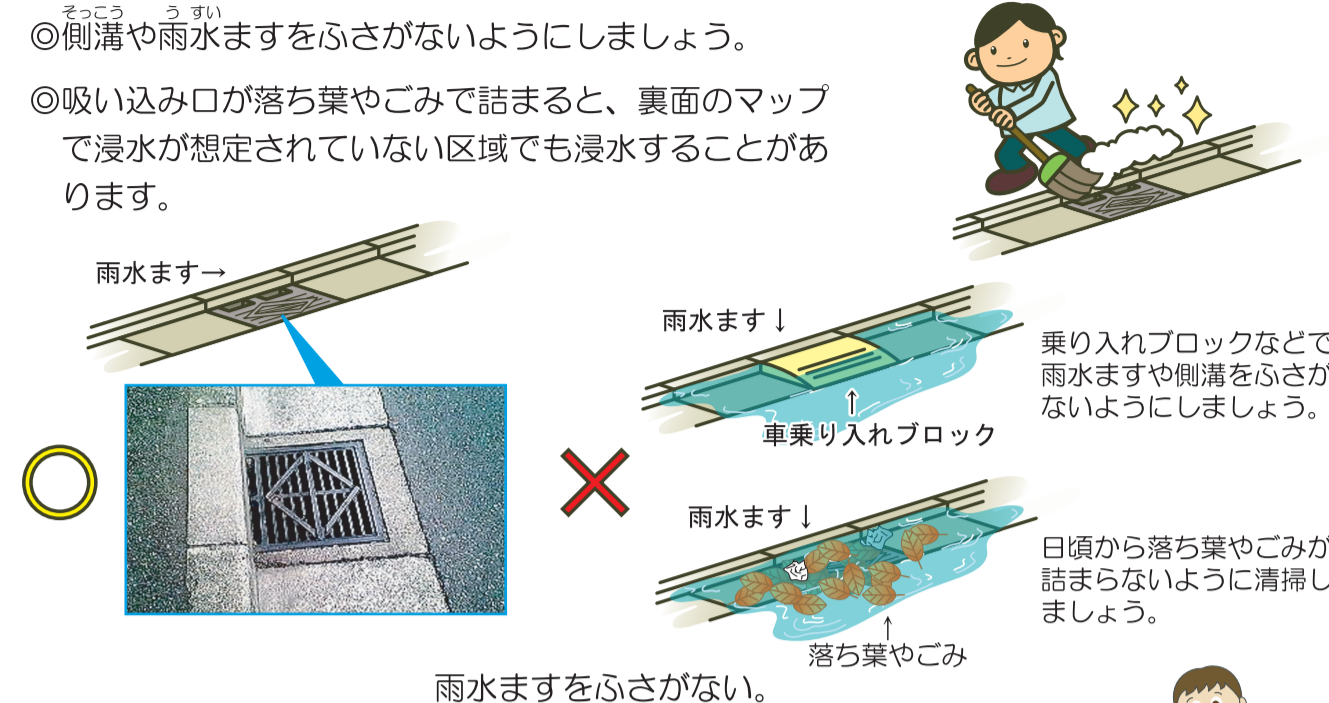


平成27年3月版

1 日頃の備えと大雨時の注意点

○日頃からの備え○

浸水被害を防止、軽減させるために日頃から備えましょう



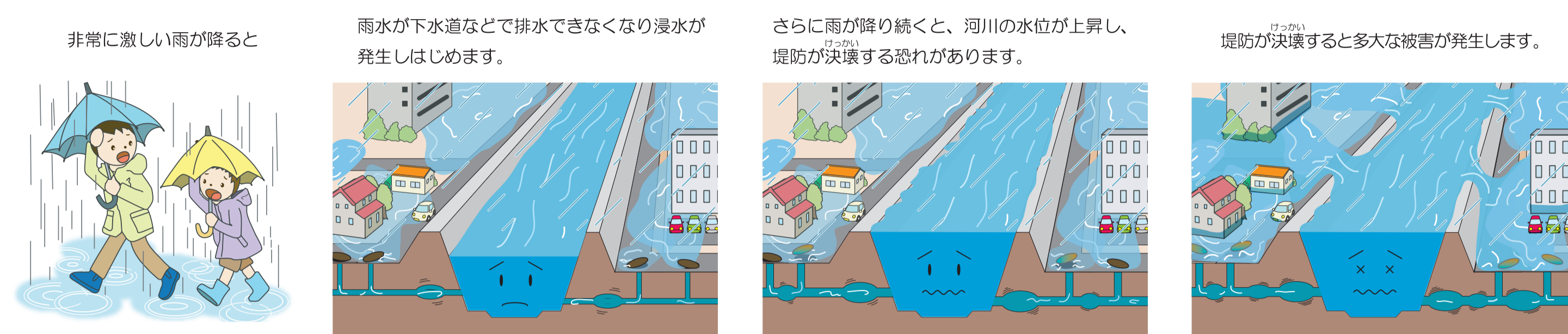
○大雨のときは、お風呂等の大量の水を排水するのを控えましょう
大雨のときは下水道管が雨水でいっぱいになっているので、大量の水を下水に排水するのは控えましょう。

降雨情報に注意しましょう

裏面のマップで浸水が想定されない区域の方も、降雨の強さや降り方によっては浸水する可能性があります。降雨情報は、横浜市防災情報のホームページや防災情報Eメールから確認できます。

○大雨が降ってきたら○

浸水の発生の流れと皆さんのとるべき行動



●情報の種類・状況●

●皆さんの行動●

大雨注意報

大雨や洪水によって災害の起こるおそれのある状況

大雨洪水警報

大雨や洪水によって重大な災害の起こるおそれのある状況

避難準備情報

人的被害が発生する可能性が高まった段階

避難勧告

人的被害が発生する可能性が明らかに高まった段階

避難指示

人的被害が発生する可能性が非常に高まった段階

特別警報

数十年に一度しかないような非常に危険な状況

○周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難勧告などの情報に留意し、ために命を守るための行動をとってください。

注意

河川の急な増水時には、避難準備情報を経ずに避難勧告などを発令することがあります。

下水道や水路などからの浸水の危険

○テレビ・ラジオ・横浜市HPなどで気象情報に注意しましょう。
○横浜市HPなどで河川の状況を確認しましょう。
○外の様子に注意しましょう。
・道路の側溝やマンホールから大量の水が溢れる。
○強い降雨が続いたり、道路の冠水が急に大きくなった場合は危険です。2階以上へ移動する等、安全な場所へ移動してください。

河川はん濫の危険

○避難行動に時間を要する方は、避難所等への避難行動を開始して下さい。
○浸水が始まっている場合は、無理に移動せず、近くの高いところなどの安全な場所に一時避難するなどの行動をとって下さい。

○避難所などへの避難行動を開始して下さい。
○浸水が始まっている場合は、無理に移動せず、近くの高いところなどの安全な場所に一時避難するなどの行動をとって下さい。

○避難勧告発令後で、避難中の方は、確実な避難行動を直ちに完了して下さい。
○避難していない方は直ちに避難行動に移るか、浸水が始まっている場合は、無理に移動せず、近くの高いところなどの安全な場所に一時避難するなどの行動をとって下さい。

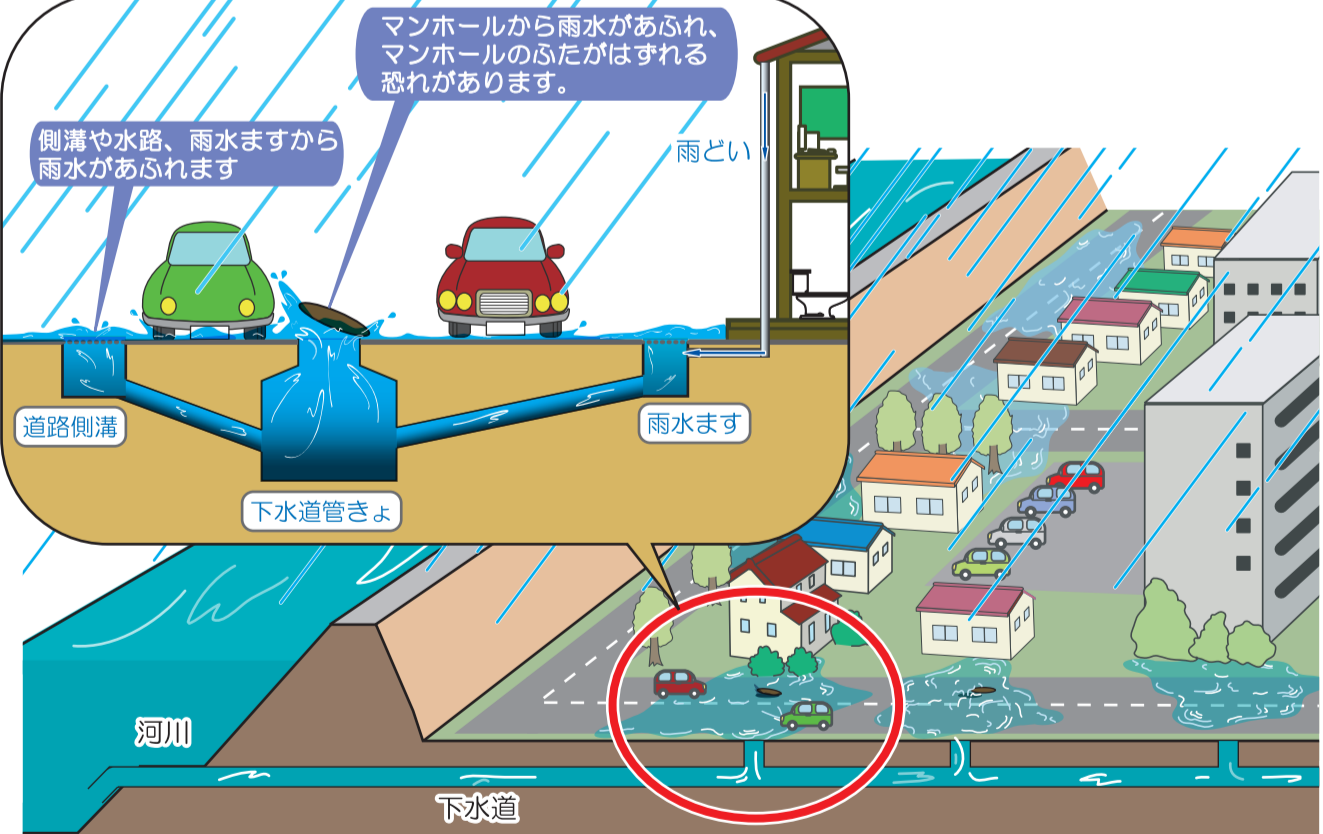
2 内水ハザードマップの活用

～地図面の「1内水ハザードマップ」で浸水想定区域となっている方へ～

○内水ハザードマップってなんだろう？○

下水道や水路などからの浸水とは？

街に降った雨は、下水道管や水路、道路側溝などを流れて河川に排水されます。大雨で下水道管や水路がいっぱいになってしまうと河川に排水できず、マンホールや雨水ます等から溢れて浸水を起こします。



内水ハザードマップとは？

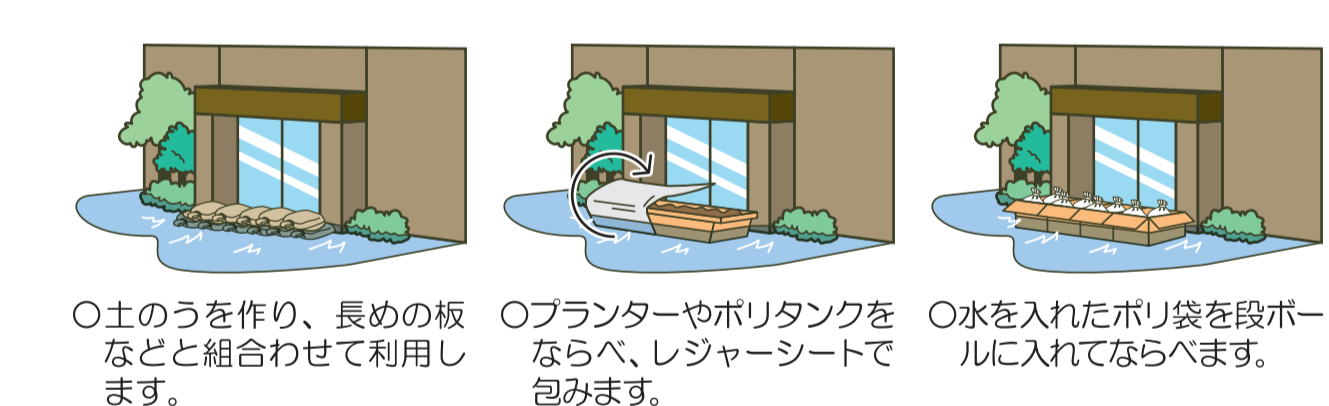
内水ハザードマップとは大雨時に想定される下水道や水路に起因した浸水区域や水深などの、さまざまな情報をまとめたマップです。
横浜市で近年大きな被害が発生した雨（1時間に76.5mm）が、全市域に降った場合に浸水が発生する区域を想定しています。
横浜市では、1時間あたりの雨量が50mm～60mmに対応する下水道整備を進めています。近年下水道の能力を超えるような大雨が増加しています。
内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、市民の皆様へ日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

想定条件 ● 1時間に最大76.5mmの降雨
(約30年に1回降ると想定される降雨)
※平成16年10月9日(台風22号)に横浜市消防局野庭消防出張所で観測された実績降雨

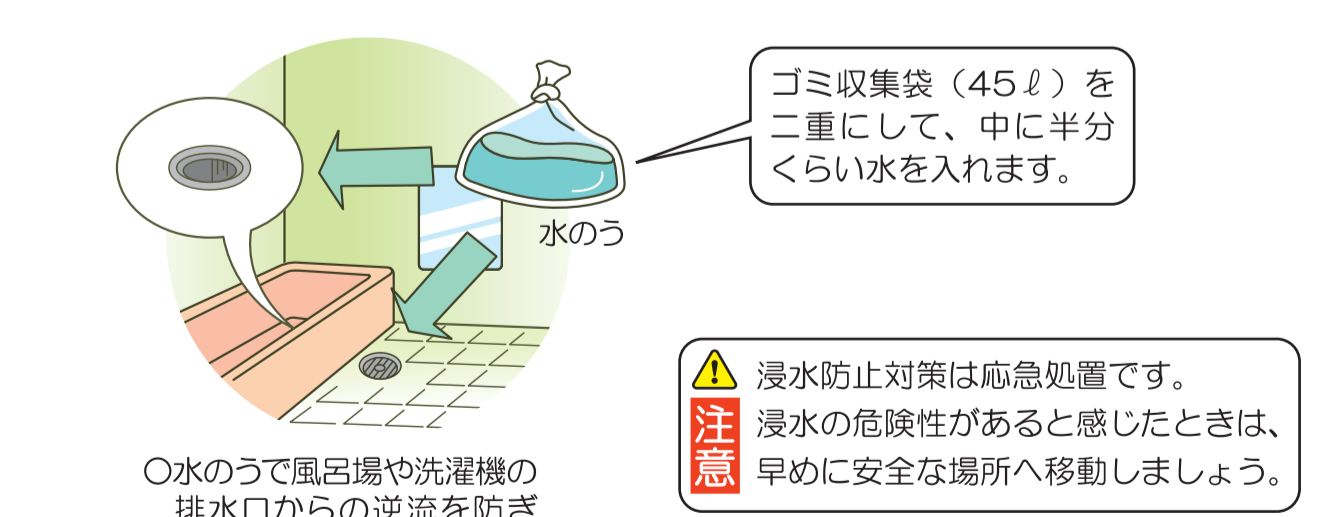
○下水道や水路等からの浸水に備えよう○

浸水被害を防止、軽減させるために日頃から備えましょう

○家にあるもので浸水を防ぎましょう。
土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用した水のうなどを使いましょう。



○意外なところからの浸水に注意しましょう。
排水口などから逆流することがあります。水のうなどでふさぎましょう。



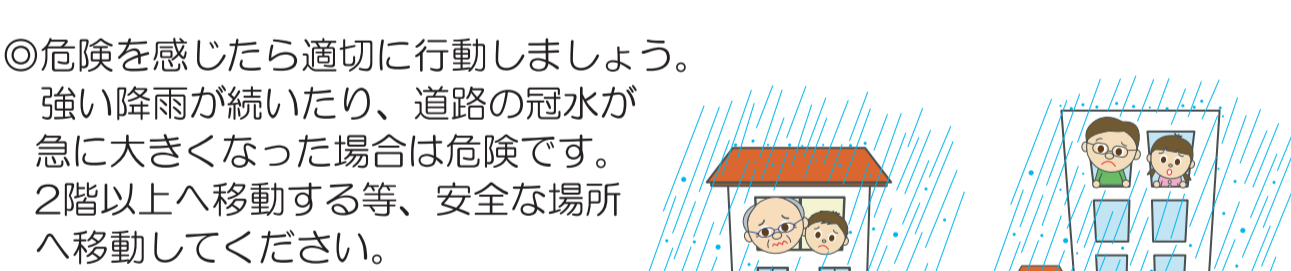
○いざという時に安全な場所を確認しておきましょう。
下水道や水路等からの浸水は浸水深さが小さいため、2階以上の安全な場所を確保しましょう。

◀設計者・建築主の皆さんへ▶
○過去に浸水被害のあった周辺やこのマップで浸水が想定される周辺の土地では、できるだけ半地下住宅・地下駐車場・機械式地下駐車場の設置はしないようにして下さい。設置する場合は、排水ポンプや止水板、土のうを用意しましょう。

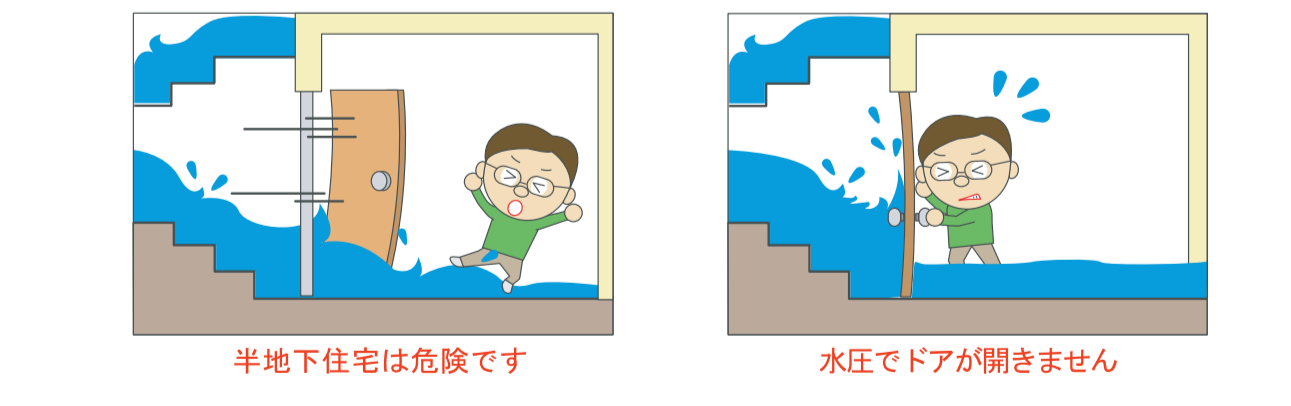
○大雨が降ってきたら○

情報を確認し、周囲の状況を判断して適切な行動を！

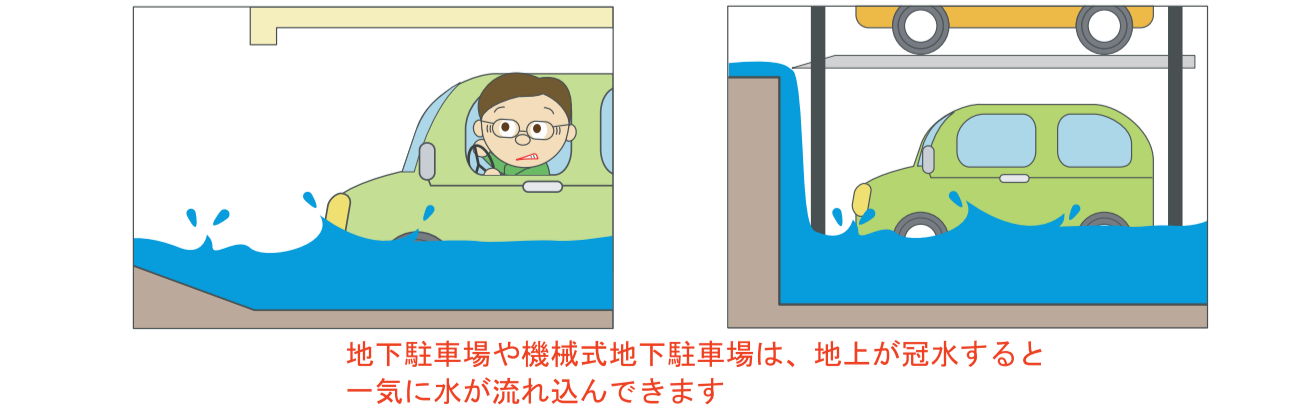
○路面の状況に注意しましょう。道路が冠水し始めたら、注意が必要です。



○地下街や半地下住宅は浸水する危険性が高いため、雨が強くなってきたら早めに安全な場所へ移動してください。



○地下駐車場や機械式駐車場は、水が一気に流れ込んでくる可能性があります。



○地下状道路（アンダーパス）は、大雨時に冠水する危険性があります。大雨時は、通行は避けましょう。

○大雨が降ってきたら○

情報を確認し、周囲の状況を判断して適切な行動を！

○降雨情報に注意しましょう。

雨の様子	やや強い雨 (1時間に10～20mmの雨)	強い雨 (1時間に20～30mmの雨)	激しい雨 (1時間に30～50mmの雨)	非常に激しい雨 (1時間に50～80mmの雨)
・傘をさして歩く	・傘をさして歩く	・傘をさして歩く	・傘をさして歩く	・傘をさして歩く
・一面に水たまりができる	・一面に水たまりができる	・道路が川のようなになる	・水しぶきであたり一面、白っぽく視界が悪くなる	・マンホールから水が噴出する

その他の問い合わせ先

お問い合わせ内容	取り扱い部署	連絡先
地域防災・避難等に関することは	鶴見区役所総務課	510-1656
人命救助・救急に関することは	鶴見消防署	503-0119
道路・下水に関することは	鶴見土木事務所	510-1669
がけに関することは	建築局建築防災課がけ防災担当	671-2948

○洪水ハザードマップの活用○

洪水ハザードマップとは？
横浜市では、平成15年に鶴見川洪水ハザードマップ（鶴見区版）、平成21年に鶴見区洪水ハザードマップ（多摩川水系河川：多摩川）を水防法に基づき公表しています。洪水ハザードマップは河川はん濫が想定される区域を示したもので、河川がはん濫した際に浸水が想定される区域の皆さんが、速やかに避難していただくためのものです。以下のウェブサイトでご覧いただけます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/flood-hmap/>

洪水ハザードマップのお問合せ先
横浜市総務局危機管理室情報技術課 電話番号 045-671-3454 ファクス 045-641-1677
Eメール so-johog@jutsu@city.yokohama.jp

環境創造局ホームページより浸水ハザードマップの説明動画を視聴できます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/naisuim/>